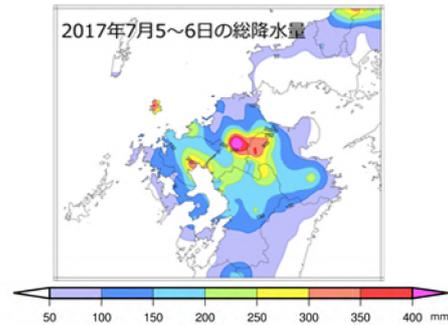


## 2017年（平成29年）の日本の天候（速報）

2017年（平成29年）の日本の天候の特徴：

梅雨の時期（6～7月）は、「平成29年7月九州北部豪雨」など記録的な大雨となる所があった。梅雨の時期（6～7月）は、東日本太平洋側や西日本は梅雨前線の影響を受けにくく、降水量が少ない地方が多かったが、梅雨前線の活動が活発となった時期もあり、「平成29年7月九州北部豪雨」など記録的な大雨となった所があった。新潟県や秋田県などでも大雨となった日があり、北陸地方や東北地方では、梅雨の時期（6～7月）の降水量は平年より多かった。



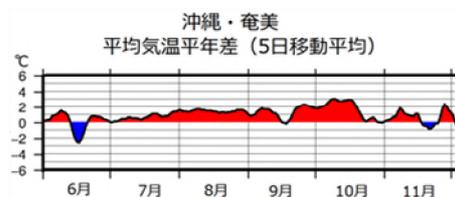
8月に北・東日本太平洋側で不順な天候となった。8月はオホーツク海高気圧が出現し、北・東日本太平洋側には冷たく湿った空気が流れ込んだため、曇りや雨の日が続く不順な天候となり、日照時間がかなり少なかった。東北北部、東南北部の梅雨明けの時期は、2009年以来8年ぶりに「特定しない」となった。



10月は北～西日本では顕著な多雨・寡照となった。10月は、秋雨前線や台風の影響を受けやすかったため、北～西日本では月降水量がかなり多く、月間日照時間がかなり少なかった。西日本の月降水量は、太平洋側で平年比334%、日本海側で平年比332%となり、いずれも1946年の統計開始以来10月としては最も多かった。



沖縄・奄美は夏から秋にかけて顕著な高温が持続した。夏から秋にかけて太平洋高気圧が日本の南海上で平年より強かった。このため沖縄・奄美では、夏は太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多く、秋には南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温のかなり高い状態が続いた。沖縄・奄美の月平均気温は、8月が平年差+1.4、9月が平年差+1.3となり、1946年の統計開始以来8月が第1位、9月が2014年と並び第1位タイと2か月続けて記録的な高温となった。



本資料は、全国154地点の气象台等における12月20日までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。12月31日までの観測データによる資料は平成30年1月4日に発表します。

# 1 概況

2017年の天候の概況は以下のとおりです。

## 【冬】

2016/17年の冬は、寒気の南下が弱く、気温の高い日が多かったため全国的に暖冬となったが、一時的に強い寒気が南下し、西日本日本海側では1月中旬～下旬前半と2月上旬後半～中旬前半に大雪となり、交通障害や農業施設被害が発生した。

## 【春】

春は、本州付近は高気圧に覆われやすかったため、北～西日本では春の降水量が少なく、春の日照時間が多かった。また日本の北の低気圧に向かって暖かい空気が流れ込みやすく、北～西日本の春の平均気温は高かった。

## 【夏】

夏は、日本の南海上で太平洋高気圧が強く、沖縄・奄美では晴れて暑い日が続いたため、夏の平均気温がかなり高く、夏の降水量は少なく、夏の日照時間は多かった。また、東・西日本でも夏の平均気温が高かった。梅雨前線は、6月は平年より南の本州の南海上に停滞することが多かったが、7月に入ると一転して平年より北の日本海に停滞することが多かったため、東日本太平洋側や西日本では梅雨前線の影響を受けにくく、梅雨の時期（6～7月）の降水量が少ない地方が多かった。ただし、梅雨前線の活動が活発となる時期があり、「平成29年7月九州北部豪雨」など記録的な大雨となった所があった。新潟県や秋田県などでも大雨となる日があり、北陸地方や東北地方では、梅雨の時期（6～7月）の降水量は多かった。8月に入るとオホーツク海高気圧が出現し、北・東日本太平洋側では冷たく湿った空気が流れ込んだため、曇りや雨の日が多い不順な天候となり、月間日照時間がかなり少なかった。東北北部、東北部の梅雨明けの時期は、2009年以来8年ぶりに「特定しない」となった。

## 【秋】

秋は、日本の南海上で太平洋高気圧が強い状態が続いた。この影響で沖縄・奄美では南から暖かい空気が流れ込みやすく、気温のかなり高い状態が続き、秋の平均気温はかなり高かった。一方、北日本では北から寒気が流れ込みやすく、秋の平均気温は低かった。本州付近には秋雨前線が停滞しやすく、台風第18号、第21号、第22号が日本に接近あるいは上陸したため、全国的に秋は多雨となった。特に10月は、北～西日本では月降水量がかなり多く、月間日照時間がかなり少なくなり、西日本では記録的な多雨となった。11月中旬からは日本付近に強い寒気が流れ込み、北～西日本では気温が低く、12月にかけて低温が続いた。日本海側では大雪となった所もあった。

## 2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

### (1) 平均気温

年平均気温は、沖縄・奄美でかなり高かった。北・東・西日本では平年並だった。

### (2) 降水量

年降水量は、北・東日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。一方、西日本日本海側と沖縄・奄美では少なかった。北・東日本太平洋側は平年並だった。

### (3) 日照時間

年間日照時間は、東日本太平洋側と西日本日本海側でかなり多く、北日本と東日本日本海側、西日本太平洋側で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

地域平均平年差(比)と階級(2017年)(12月20日までのデータによる)

	気温 平年差 (階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 (階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	0.2(0)	103(0) 日 107(+) 太 100(0)	103(+) 日 101(+) 太 104(+)	北海道	0.2(0)	101(0) 日 103(0) オ 101(0) 太 98(0)	103(+) 日 102(0) オ 98(0) 太 108(+)*
東日本	0.2(0)	102(0) 日 117(+) 太 98(0)	108(+)* 日 107(+) 太 108(+)*	東北	0.2(0)	106(+) 日 113(+) 太 101(0)	102(0) 日 100(0) 太 103(+)
西日本	0.1(0)	100(0) 日 94(-) 太 105(+)	106(+)* 日 107(+)* 太 105(+)	関東甲信	0.3(0)	99(0)	109(+)*
沖縄・奄美	0.5(+)*	92(-)	99(0)	北陸	0.0(0)	117(+)	107(+)
				東海	0.1(0)	97(0)	107(+)
				近畿	0.0(0)	108(+) 日 123(+)* 太 102(0)	107(+)* 日 109(+) 太 107(+)*
				中国	0.1(0)	105(0) 陰 103(0) 陽 108(+)	108(+) 陰 110(+)* 陽 105(+)
				四国	0.1(0)	107(0)	104(+)
				九州北部	0.3(+)	85(-)	106(+)
				九州南部 ・奄美	0.0(0) 本 0.0(0) 奄 0.3(+)	103(+) 本 105(+) 奄 92(-)	103(+) 本 104(+) 奄 100(0)
				沖縄	0.6(+)*	92(-)	99(0)

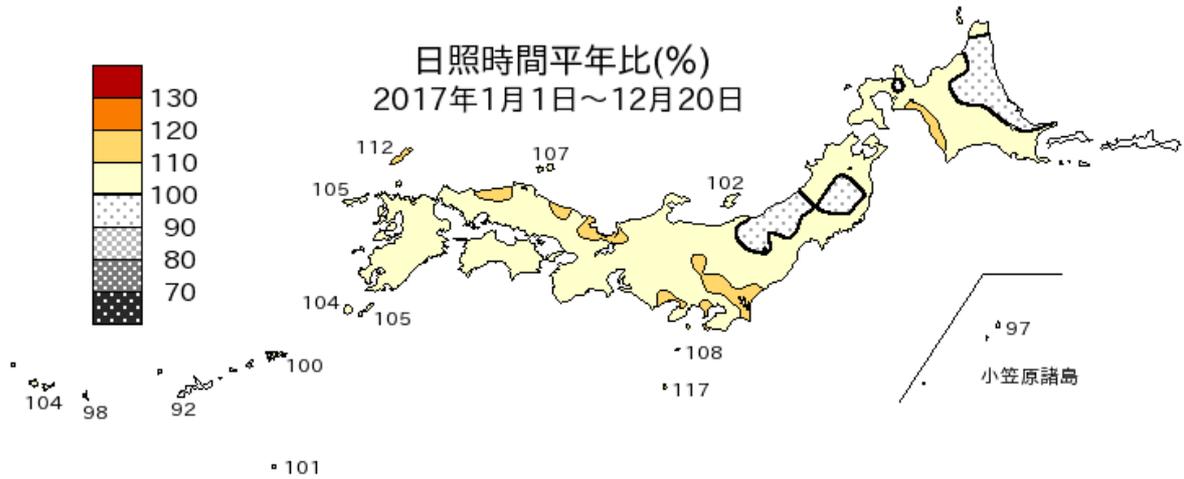
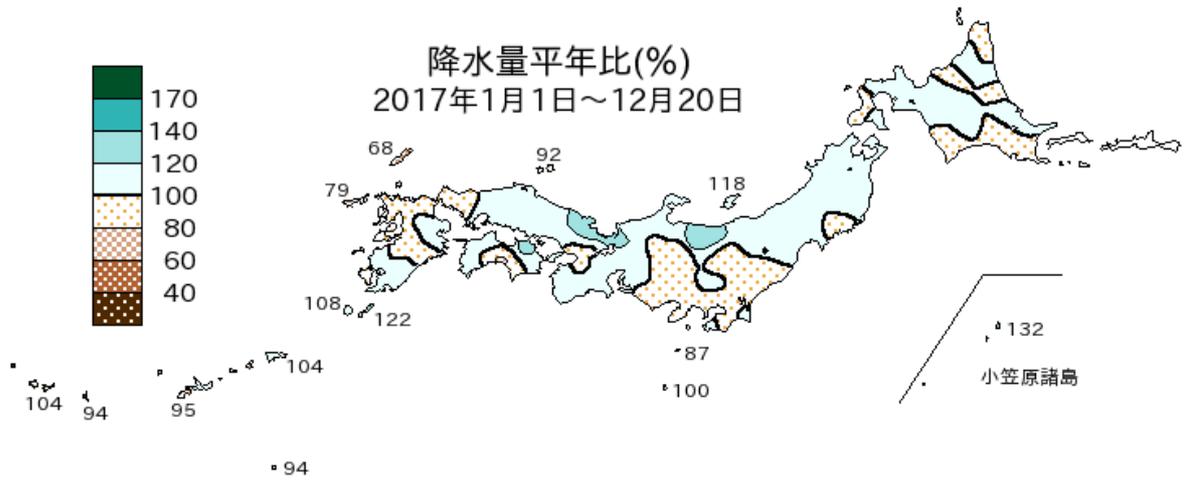
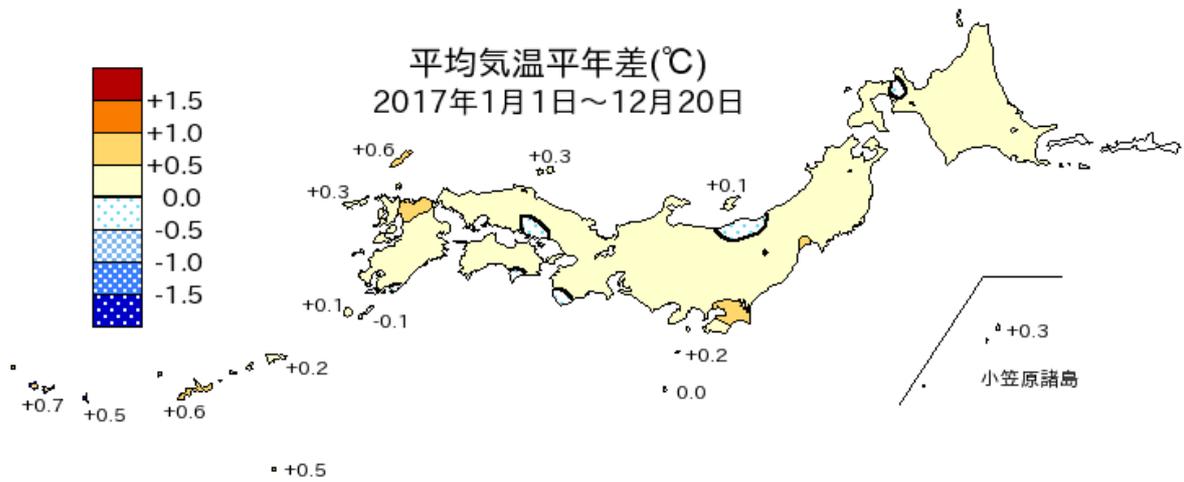
階級表示 - :低い(少ない) 0:平年並 + :高い(多い)  
\*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)  
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美  
太:太平洋側

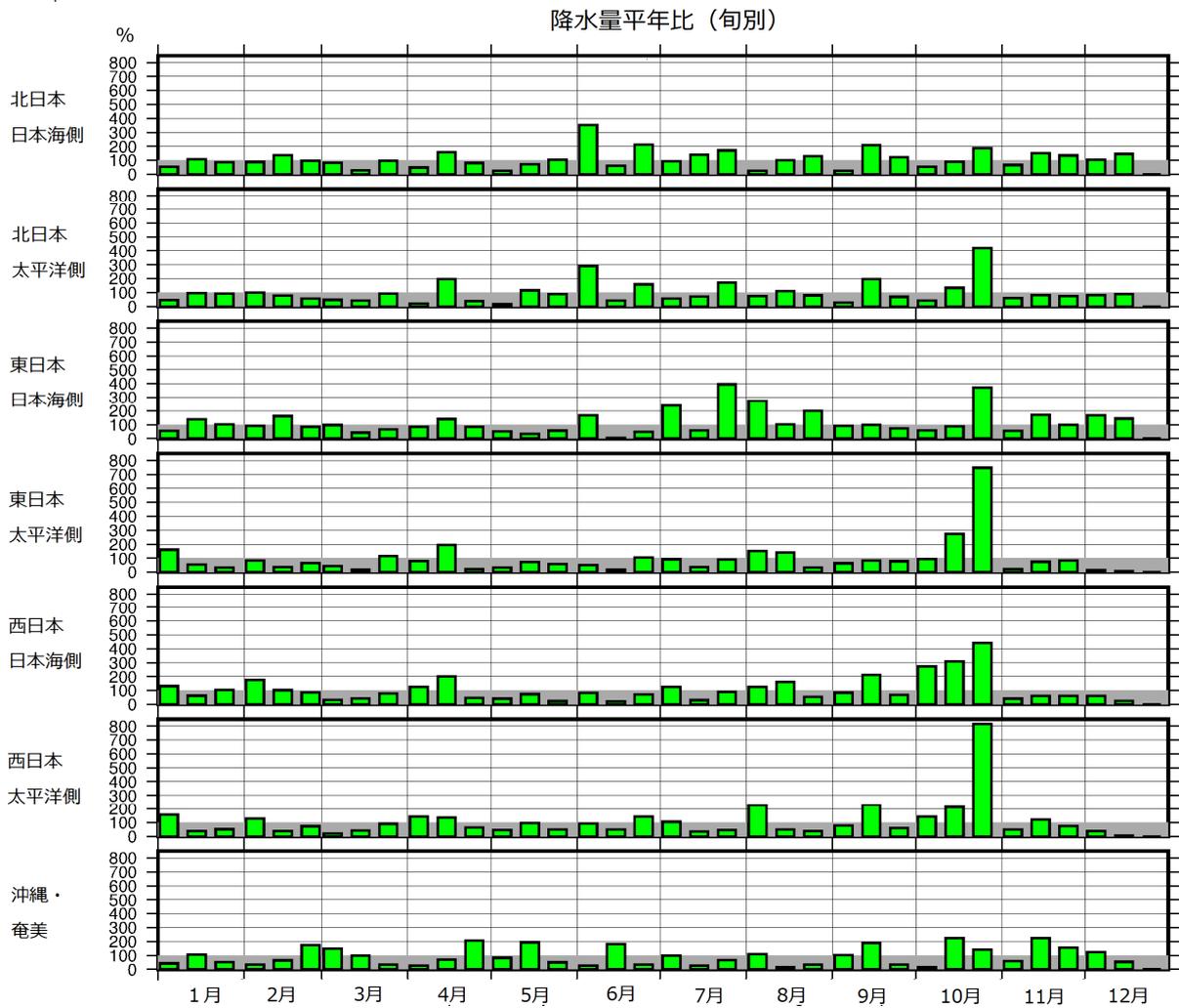
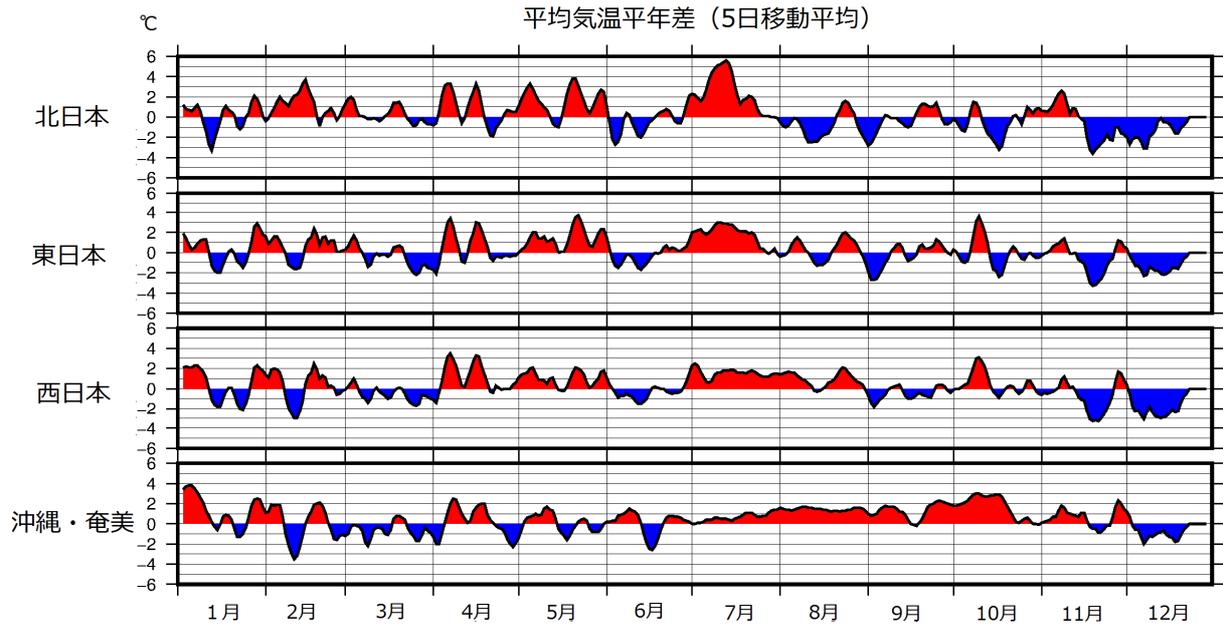
(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は154地点である。

- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

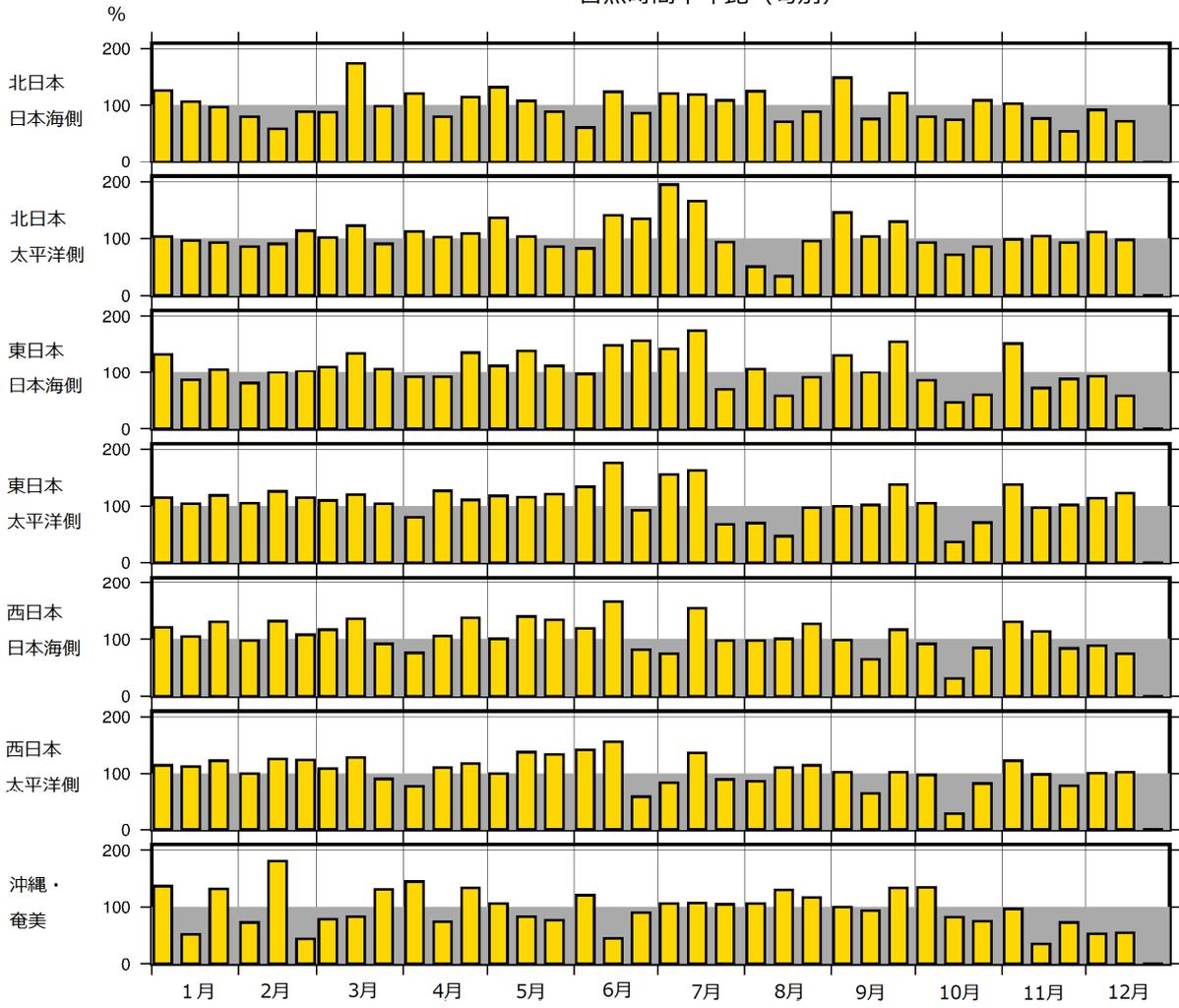
平年差（比）図（2017年）（12月20日までのデータによる）



地域平均平年差（比）の経過（2017年）（12月20日までのデータによる）



日照時間平年比（旬別）



### 観測史上1位の値(月、3か月、年別値)の更新地点数

- ・全国154地点(降雪の深さ、最深積雪は106地点)の気象台等の統計値の中で、観測史上1位となった地点数を記載した。
- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載した

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	1			2				
2月					2			
冬	2、2タイ			2	9			
3月								
4月								
5月	5、4タイ 西			4	2			
春				3				
6月			3		1			
7月	4、7タイ 西		1	1	3			
8月	9、5タイ 沖奄			1	1	3		
夏				1				
9月	4、1タイ 沖奄		1					
10月	1		27 東太、西日、 西太			5		
11月				1	1	1タイ	1	
秋	4、1タイ 沖奄		4					
年(速報) 2017年								

地域表示 北：北日本 北日：北日本日本海側 北太：北日本太平洋側  
 東：東日本 東日：東日本日本海側 東太：東日本太平洋側  
 西：西日本 西日：西日本日本海側 西太：西日本太平洋側  
 沖奄：沖縄・奄美

各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨時期 の降水量 平年比と 階級 (注2)
沖 縄	5月13日ごろ(+)	5月9日ごろ	6月22日ごろ(0)	6月23日ごろ	105%(0)
奄 美	5月13日ごろ(0)	5月11日ごろ	6月29日ごろ(0)	6月29日ごろ	86%(-)
九州南部	6月6日ごろ(+)	5月31日ごろ	7月13日ごろ(0)	7月14日ごろ	91%(0)
九州北部	6月20日ごろ(+)*	6月5日ごろ	7月13日ごろ(-)	7月19日ごろ	67%(-)
四 国	6月20日ごろ(+)*	6月5日ごろ	7月13日ごろ(-)	7月18日ごろ	81%(-)
中 国	6月20日ごろ(+)*	6月7日ごろ	7月13日ごろ(-)*	7月21日ごろ	77%(-)
近 畿	6月20日ごろ(+)*	6月7日ごろ	7月13日ごろ(-)	7月21日ごろ	81%(-)
東 海	6月21日ごろ(+)*	6月8日ごろ	7月15日ごろ(-)	7月21日ごろ	67%(-)*
関東甲信	6月7日ごろ(0)	6月8日ごろ	7月6日ごろ(-)*	7月21日ごろ	71%(-)
北 陸	6月25日ごろ(+)*	6月12日ごろ	8月2日ごろ(+)	7月24日ごろ	133%(+)
東北南部	6月30日ごろ(+)*	6月12日ごろ	特定しない	7月25日ごろ	110%(+)
東北北部	7月1日ごろ(+)*	6月14日ごろ	特定しない	7月28日ごろ	118%(+)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「 日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)\*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)\*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月。沖縄と奄美は5~6月。)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)\*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)\*: かなり少ない、の階級区分を表す。

(注3) 階級区分は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%	33%	33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

### 3 季節別の天候経過

冬（2016年12月～2017年2月）:

全国的に暖冬だった

西日本日本海側は、1月中旬～下旬前半と2月上旬後半～中旬前半に大雪となった

東日本太平洋側は、日照時間がかなり多かった

日本付近は、寒気の南下が弱く、気温の高い日が多かったため、全国的に暖冬となった。一時的に強い寒気が南下することがあり、12月前半は北日本中心に、1月中旬～下旬前半は全国で、2月上旬後半～中旬前半は西日本中心に低温となり、気温の変動が大きかった。

冬の降雪量は、北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。西日本日本海側での冬の降雪量は平年並だったが、強い寒気が南下した1月中旬～下旬前半と2月上旬後半～中旬前半には大雪となり、交通障害や農業施設被害などが発生した。最深積雪は智頭（鳥取県）で111cm（1月24日）と、1月の最深積雪の記録を更新したほか、鳥取（鳥取県）で91cm（2月11日）と、1983/84年冬以来33年ぶりに90cmを超えた。

北日本では寒気の影響が弱かったが、低気圧が日本海や沿海州付近から北日本に進むことが多かったため、北日本日本海側の冬の日照時間は少なかった。一方、東・西日本では、冬の後半に、低気圧の影響を受けることが少なく、高気圧に覆われることが多かったため、冬の日照時間は東日本太平洋側でかなり多く、西日本で多かった。

平均気温：全国的に高く、沖縄・奄美はかなり高かった。

降水量：西日本日本海側で多かった。沖縄・奄美で少なかった。北・東日本、西日本太平洋側では平年並だった。

日照時間：東日本太平洋側でかなり多く、西日本で多かった。北日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側、東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

春（3～5月）:

北・東・西日本で降水量が少なく、日照時間が多かった

北・東・西日本で気温が高かった

日本の北と日本の南海上を低気圧が通りやすく、本州付近では大陸からの高気圧に覆われて晴れた日が多かった。このため、北日本から西日本にかけて春の降水量が少なく、日照時間は多くなった。特に、北・東日本日本海側では春の降水量がかなり少なく、東日本と西日本日本海側で春の日照時間がかなり多くなった。一方で、西日本太平洋側では、4月と5月は南から湿った気流が入りやすい時期があり、大雨となった日があった。

日本の南では高気圧の勢力が強く、本州付近では日本の北の低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込みやすかった。また、高気圧に覆われ、晴れて気温が上がった日が多かったため、春の平均気温は北・東・西日本で高くなったが、西日本や沖縄・奄美では3月に大陸からの冷たい空気が流れ込んだため、気温の低い時期があった。

沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多くなった。3月上旬や4月下旬には低気圧や前線の影響で大雨となった所があった。

平均気温：北・東・西日本で高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

降水量：北・東日本日本海側ではかなり少なく、北・東日本太平洋側、西日本で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

日照時間：東日本と西日本日本海側でかなり多く、北日本、西日本太平洋側で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

夏(6~8月):

気温は、東・西日本で高く、沖縄・奄美でかなり高かった

降水量は、北・東日本日本海側で多く、東日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった

「平成29年7月九州北部豪雨」が発生するなど、記録的な大雨となった所があった

オホーツク海高気圧が出現し、北・東日本太平洋側では不順な天候となった時期があった

6月は太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、梅雨前線が日本の南海上に停滞することが多かったが、6月下旬には梅雨前線は本州南岸に停滞した。このため、沖縄・奄美では6月中旬を中心に梅雨前線の影響を受けやすく、本州付近は全般に梅雨前線の影響を受けにくかった。

7月になると太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、梅雨前線は日本海に停滞することが多く、北・東日本日本海側では梅雨前線の影響を受けやすかった。梅雨前線の活動が活発となった時期があり、また湿った気流や上空の寒気などの影響で、本州付近では各地で大雨となった。7月5~6日には「平成29年7月九州北部豪雨」が発生した。

8月は上旬から中旬にオホーツク海高気圧が出現した。8月下旬は天気は数日の周期で変わったが、日本海で前線の活動が活発だった。北・東日本太平洋側では、8月上旬から中旬を中心にオホーツク海高気圧による北東からの冷たく湿った気流の影響を受けやすかったため不順な天候となり、北・東日本太平洋側の8月の月間日照時間はかなり少なかった。

この夏に発生した台風は計14個で、このうち7月に8個の台風が発生した。台風第3号は、7月3~5日にかけて先島諸島から本州付近へ進んだ。台風第5号は、7月28日に小笠原諸島に接近した後、8月4日に奄美地方に接近し、9日には山形県沖で温帯低気圧に変わった。

本州付近では、7月から8月を中心に西よりの暖かい空気が流れ込みやすく、また高気圧に覆われやすかった時期があり、東・西日本の夏の平均気温は高かった。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、夏の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間は多かった。7月以降は少雨となった所があったが、奄美地方では台風第5号の影響で大雨となった所があった。夏の降水量は、低気圧や前線の影響を受けやすかった東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側で多かった。梅雨前線の影響を受けにくかった東日本太平洋側と西日本日本海側の夏の降水量は少なかった。

平均気温：沖縄・奄美でかなり高く、東・西日本で高かった。北日本で平年並だった。

降水量：東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側、西日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。北・西日本太平洋側では平年並だった。

日照時間：東日本日本海側、西日本と沖縄・奄美で多かった。北日本と東日本太平洋側では平年並だった。

秋(9~11月):

気温は、沖縄・奄美でかなり高く、北日本で低かった

降水量は、全国的に多く、西日本と東日本太平洋側でかなり多かった

日照時間は、西日本でかなり少なく、沖縄・奄美で少なかった

日本の南東海上で太平洋高気圧の勢力が強く、9月から10月にかけては西日本付近に停滞する秋雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかった。また、9月には台風第18号が、10月には台風第21号、第22号が日本に接近あるいは上陸した。秋雨前線の活動が活発となって広い範囲で大雨となり、特に10月は北日本から西日本にかけて顕著な多雨・寡照となった。

このため、秋の降水量は全国的に多く、西日本と東日本太平洋側でかなり多かった。また、秋の日照時間は西日本でかなり少なく、沖縄・奄美で少なかった。

秋の気温は、太平洋高気圧の縁を回って南から暖かい空気が流れ込みやすかった沖縄・奄美でかなり高かった。一方、偏西風の南への蛇行に伴い10月中旬や11月中旬以降を中心に大陸から強い寒気が流れ込んだ北日本では低かった。

平均気温：沖縄・奄美でかなり高かった。一方、北日本で低かった。東・西日本では平年並だった。

降水量：東日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本と東日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。

日照時間：西日本でかなり少なく、沖縄・奄美で少なかった。北・東日本では平年並だった。

## 4 全国気候表 2017年(12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 1mm	日照時間(平年比)	
	( )	( )	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	9.5	(+0.2)	1136.0	(107)	139	1796.8	(105)
稚内	7.2	(0.0)	988.0	(96)	138	1491.5	(101)
北見枝幸	6.7	(+0.3)	1099.0	(98)	146	1477.7	(97)
旭川	7.5	(+0.2)	1016.0	(100)	151	1552.5	(99)
留萌	8.1	(0.0)	1030.0	(95)	153	1564.1	(102)
羽幌	8.1	(0.0)	1320.0	(107)	162	1560.8	(100)
岩見沢	8.2	(+0.1)	1220.0	(109)	147	1759.6	(104)
倶知安	7.3	(-0.1)	1511.0	(107)	175	1442.3	(99)
小樽	9.0	(+0.1)	1410.0	(119)	166	1623.5	(101)
寿都	9.1	(+0.1)	1202.0	(106)	148	1462.0	(103)
網走	7.2	(+0.3)	796.0	(104)	106	1815.2	(99)
紋別	7.1	(+0.4)	784.5	(99)	106	1642.9	(97)
雄武	6.5	(+0.4)	864.0	(102)	121	1599.5	(98)
釧路	7.0	(+0.4)	854.5	(83)	85	2062.8	(108)
根室	6.8	(+0.2)	962.5	(96)	99	1973.6	(110)
帯広	7.7	(+0.5)	878.0	(101)	96	2114.5	(107)
広尾	7.6	(+0.4)	1467.0	(88)	123	1866.7	(106)
室蘭	9.2	(+0.3)	1200.0	(103)	125	1834.3	(108)
苫小牧	8.1	(+0.1)	1215.5	(103)	102	1869.9	(113)
浦河	8.3	(0.0)	1038.0	(98)	114	1990.1	(111)
函館	9.8	(+0.3)	1260.5	(113)	139	1786.9	(104)
江差	10.5	(+0.1)	979.0	(84)	137	1469.1	(102)
青森	11.1	(+0.4)	1349.0	(108)	165	1637.4	(103)
深浦	11.2	(+0.1)	1631.5	(115)	167	1444.9	(100)
むつ	10.1	(+0.2)	1426.0	(109)	150	1651.6	(104)
八戸	10.9	(+0.4)	1023.0	(102)	94	1828.8	(101)
秋田	12.3	(+0.2)	1894.0	(116)	183	1584.3	(105)
盛岡	11.0	(+0.4)	1393.5	(112)	128	1604.5	(97)
大船渡	12.0	(+0.4)	1399.0	(92)	101	1722.5	(101)
宮古	11.1	(+0.2)	1339.5	(103)	97	1853.4	(101)
仙台	13.3	(+0.6)	1316.0	(106)	98	1852.1	(106)
石巻	12.2	(+0.3)	1056.0	(100)	86	1950.6	(103)
山形	12.3	(+0.2)	1298.0	(115)	143	1536.1	(97)
新庄	11.3	(+0.2)	2037.0	(114)	200	1309.9	(100)
酒田	13.1	(+0.1)	1941.5	(107)	193	1514.9	(99)
福島	13.7	(+0.3)	1186.5	(103)	106	1739.8	(103)
若松	12.2	(+0.1)	1380.0	(117)	143	1548.5	(98)
白河	12.1	(+0.2)	1305.5	(93)	113	1801.5	(104)
小名浜	14.0	(+0.3)	1252.5	(90)	103	2050.4	(104)
水戸	14.5	(+0.5)	1117.5	(83)	96	2068.8	(112)
館野(つくば)	14.6	(+0.5)	1194.5	(94)	99	2048.3	(111)
宇都宮	14.5	(+0.3)	1302.0	(88)	108	1954.1	(106)
日光	7.3	(0.0)	1908.0	(88)	122	1747.8	(102)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 1mm	日照時間(平年比)	
	( )	( )	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	15.3	(+0.4)	1192.5	(96)	90	2165.5	(106)
熊谷	15.7	(+0.4)	1307.5	(103)	92	2211.3	(113)
秩父	13.8	(+0.3)	1372.0	(104)	87	2010.3	(110)
東京	16.2	(+0.5)	1419.5	(94)	94	1974.6	(109)
大島	16.7	(+0.3)	3362.5	(120)	109	1974.6	(113)
三宅島	18.1	(+0.2)	2520.5	(87)	110	1804.8	(108)
八丈島	18.0	(0.0)	3150.0	(100)	147	1592.0	(117)
父島	23.6	(+0.3)	1651.0	(132)	107	1937.9	(97)
千葉	16.6	(+0.6)	1236.0	(90)	88	1982.5	(108)
銚子	16.2	(+0.5)	1853.0	(113)	109	2097.3	(111)
館山	16.5	(+0.3)	1985.5	(113)	93	2065.4	(110)
勝浦	16.4	(+0.4)	1889.0	(97)	95	2028.1	(109)
横浜	16.6	(+0.5)	1612.5	(96)	95	2097.8	(111)
長野	12.3	(0.0)	1174.5	(128)	114	1915.8	(101)
松本	12.4	(+0.2)	907.5	(89)	86	2169.0	(106)
諏訪	11.6	(+0.1)	1047.5	(83)	102	2232.2	(108)
軽井沢	8.7	(+0.1)	1251.5	(102)	113	2116.3	(113)
飯田	13.1	(0.0)	1572.5	(99)	107	2116.2	(108)
甲府	15.3	(+0.2)	1060.0	(94)	84	2271.4	(108)
河口湖	11.2	(+0.3)	1545.5	(99)	84	2031.7	(108)
静岡	17.1	(+0.2)	2080.0	(90)	98	2242.0	(111)
浜松	16.9	(+0.3)	1749.0	(98)	96	2295.4	(107)
御前崎	16.7	(0.0)	1666.5	(82)	90	2367.6	(110)
三島	16.6	(+0.4)	1567.5	(84)	95	2102.4	(111)
石廊崎	17.0	(+0.1)	1605.0	(91)	94	2223.9	(108)
網代	16.5	(+0.2)	1683.5	(86)	103	1885.3	(108)
名古屋	16.3	(+0.1)	1673.5	(110)	102	2167.1	(107)
伊良湖	16.6	(+0.3)	1640.0	(104)	89	2260.0	(106)
岐阜	16.3	(+0.1)	1814.5	(101)	114	2124.1	(105)
高山	11.5	(+0.1)	1625.5	(98)	156	1655.0	(104)
津	16.4	(+0.1)	1657.0	(106)	95	2117.5	(105)
上野	14.8	(+0.2)	1516.5	(112)	99	1834.5	(107)
尾鷲	16.5	(+0.1)	3950.0	(103)	108	1983.4	(105)
四日市	15.3	(+0.1)	1792.0	(105)	109	1954.0	(103)
新潟	14.0	(-0.2)	1983.5	(113)	161	1622.9	(100)
相川	14.3	(+0.1)	1714.5	(118)	154	1651.8	(102)
高田	14.0	(0.0)	3204.5	(123)	191	1594.5	(102)
富山	14.7	(+0.3)	2606.5	(118)	174	1713.9	(108)
伏木	14.4	(+0.1)	2446.0	(115)	172	1729.8	(109)
金沢	15.3	(+0.3)	2622.5	(114)	170	1828.7	(110)
輪島	14.0	(+0.2)	2224.5	(110)	164	1680.6	(109)

地点名	平均气温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 1mm	日照時間(平年比)	
	( )	( )	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.0	(+0.1)	2432.0	(113)	170	1738.6	(109)
敦賀	15.8	(+0.2)	2653.5	(131)	177	1716.7	(112)
彦根	15.2	(+0.2)	1829.0	(119)	141	1908.5	(106)
京都	16.4	(+0.2)	1438.5	(97)	101	1836.4	(106)
舞鶴	14.9	(0.0)	2236.5	(126)	158	1689.0	(112)
大阪	17.2	(0.0)	1251.5	(99)	84	2133.2	(110)
神戸	17.2	(+0.1)	1172.5	(97)	85	2147.6	(107)
豊岡	14.8	(+0.1)	2440.0	(125)	156	1592.4	(109)
姫路	15.7	(+0.1)	1242.0	(104)	86	2102.9	(106)
洲本	15.8	(0.0)	1517.0	(109)	93	2114.7	(105)
奈良	15.8	(+0.6)	1262.5	(97)	92	1845.7	(104)
和歌山	17.2	(+0.2)	1315.5	(101)	84	2155.9	(106)
潮岬	17.5	(-0.1)	2740.5	(110)	110	2332.8	(108)
岡山	16.1	(-0.4)	1199.0	(109)	88	2078.6	(105)
津山	14.1	(+0.1)	1570.0	(112)	112	1880.4	(108)
広島	16.7	(+0.1)	1615.0	(106)	91	2051.3	(103)
呉	16.7	(+0.2)	1352.5	(99)	89	2104.1	(105)
福山	15.8	(+0.1)	1266.5	(114)	85	2141.5	(105)
松江	15.6	(+0.4)	1734.5	(100)	142	1830.2	(110)
西郷	14.9	(+0.3)	1606.5	(92)	127	1837.2	(107)
浜田	16.2	(+0.4)	1642.0	(101)	112	1937.1	(113)
鳥取	15.5	(+0.3)	2170.0	(118)	150	1807.9	(111)
米子	15.8	(+0.5)	1774.0	(103)	138	1885.3	(110)
境	15.9	(+0.4)	1923.0	(104)	142	1827.6	(108)
徳島	17.0	(+0.1)	1478.5	(102)	81	2204.3	(108)
高松	17.0	(+0.4)	1399.5	(131)	77	2121.6	(106)
多度津	16.8	(+0.2)	1257.0	(119)	85	2201.8	(107)
松山	17.1	(+0.3)	1513.0	(117)	93	2026.6	(103)
宇和島	17.3	(+0.2)	1656.0	(102)	112	1887.8]	( )
高知	17.4	(+0.1)	1995.5	(79)	102	2150.0	(103)
宿毛	17.5	(+0.2)	2009.0	(103)	103	2125.4	(104)
清水	18.4	(-0.1)	2771.5	(113)	109	2199.7	(103)
室戸岬	16.8	(-0.2)	2254.5	(98)	114	2232.2	(106)
山口	16.0	(+0.2)	1747.5	(94)	112	1953.5	(105)
下関	17.5	(+0.5)	1495.0	(90)	102	2000.9	(109)
萩	16.3	(+0.5)	1447.0	(89)	100	1844.5	(109)
福岡	17.9	(+0.6)	1306.5	(82)	106	2033.8	(111)
飯塚	16.5	(+0.5)	1552.0	(89)	116	1940.9	(108)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 1mm	日照時間(平年比)	
	( )	( )	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.2	(+0.5)	1908.5	(117)	89	2014.0	(103)
日田	16.2	(+0.4)	1966.0	(110)	106	1872.0	(106)
長崎	17.6	(+0.1)	1766.0	(96)	106	1897.2	(104)
厳原	16.7	(+0.6)	1509.5	(68)	81	2014.6	(112)
平戸	16.8	(+0.4)	1670.5	(80)	90	1881.2	(108)
佐世保	17.6	(+0.3)	1581.0	(82)	87	2007.9	(107)
雲仙岳	13.1	(0.0)	2703.5	(94)	123	1482.6	(105)
福江	17.4	(+0.3)	1833.5	(79)	98	1802.4	(105)
佐賀	17.4	(+0.6)	1624.5	(88)	92	1988.4	(104)
熊本	17.3	(0.0)	1808.0	(92)	100	2021.0	(104)
阿蘇山	12.1]	( )	2895.0]	( )	137]	1431.9]	( )
人吉	16.0	(+0.1)	2348.5	(99)	123	1848.5	(104)
牛深	18.3	(0.0)	1898.0	(98)	105	1998.7	(105)
宮崎	18.0	(+0.2)	2715.5	(109)	106	2145.1	(105)
延岡	17.1	(+0.2)	2041.0	(89)	93	2179.6	(106)
都城	17.0	(+0.2)	2556.5	(104)	118	1912.2	(102)
油津	18.4	(-0.1)	2900.0	(112)	107	1951.2	(103)
鹿児島	18.9	(0.0)	2253.0	(100)	122	1972.1	(104)
阿久根	17.6	(0.0)	2173.5	(107)	117	2031.2	(106)
枕崎	18.4	(0.0)	2111.5	(98)	123	1929.9	(103)
屋久島	19.8	(+0.1)	4752.0	(108)	154	1568.0	(104)
種子島	19.8	(-0.1)	2826.5	(122)	125	1856.3	(105)
名瀬	22.1	(+0.2)	2887.5	(104)	144	1333.3	(100)
沖永良部	23.0	(+0.4)	1415.5	(79)	106	1844.0	(100)
那覇	23.8	(+0.6)	1906.0	(95)	119	1599.2	(92)
名護	23.4	(+0.6)	2066.5	(105)	134	1708.8	(99)
久米島	23.8	(+0.7)	1952.0	(95)	117	1663.9	(96)
宮古島	24.3	(+0.5)	1845.0	(94)	131	1708.1	(98)
石垣島	25.1	(+0.7)	2142.0	(104)	128	1883.6	(104)
西表島	24.6	(+0.8)	2205.0	(98)	133	1748.2	(102)
与那国島	24.6	(+0.6)	1712.0	(75)	150	1617.4	(104)
南大東島	23.9	(+0.5)	1443.5	(94)	114	2094.2	(101)

- (注) 1. これらは12月20日までの観測値を使った集計結果である。  
2. 値の横に ] がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれているので注意されたい。  
3. 平年差(比)は同期間の日別平年値を平均・合計したものに對する差(比)である。

## 5 平年差（比）が観測史上 1 位を上回っている地点

（12月20日までのデータによる）

過去の平年差（比）と同値は「＝」で表す。

なし

（注）これらは 12 月 20 日までの観測値を使った集計結果であるので、年末までのデータを加えた確定値では変わる可能性がある。

値の横に「J」がある場合（資料不足値）には、統計期間内のデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれている。順位は極値順位以上になることは

確実であるが、統計値の使用に際しては注意されたい。

平年値（\*）は日別平年値を平均・合計したものである。

平年値とは 1981～2010 年の 30 年間の値を平均したものである。